

6 男女共同参画社会の実現について

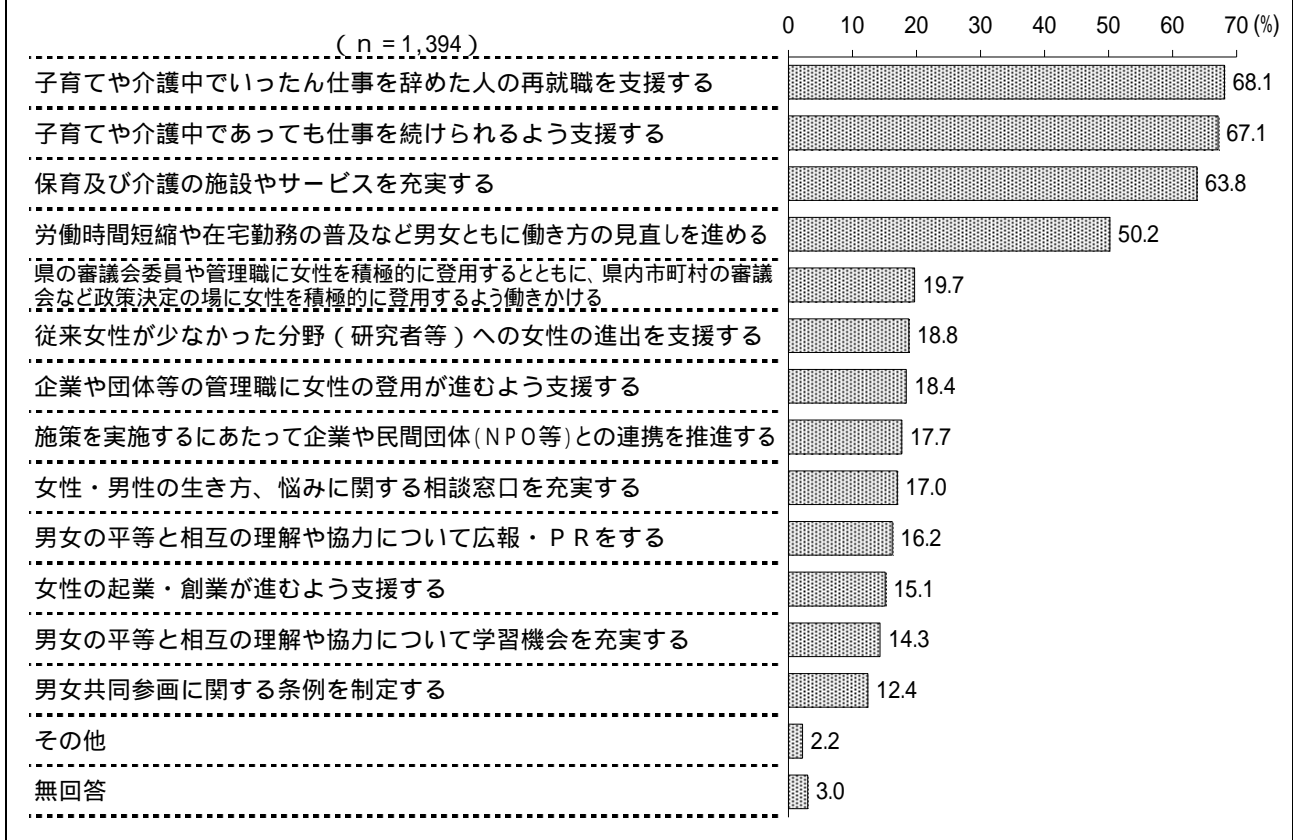
(1) 男女共同参画社会の実現のために今後県が力を入れるべき取組

「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」と「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が約7割

県では、男女がともに認め合い、支え合うパートナーとして、いきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現を目指しています。

問25 あなたは、男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（はいくつでも）

<図表6-1> 男女共同参画社会の実現のために今後県が力を入れるべき取組（複数回答）



男女共同参画社会の実現のために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（68.1%）と「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」（67.1%）が約7割で高く、以下、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」（63.8%）、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」（50.2%）が続く。

（図表6-1）

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表6-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は女性の60～64歳（82.8%）が8割を超え、女性の30代（78.6%）が約8割で高くなっている。

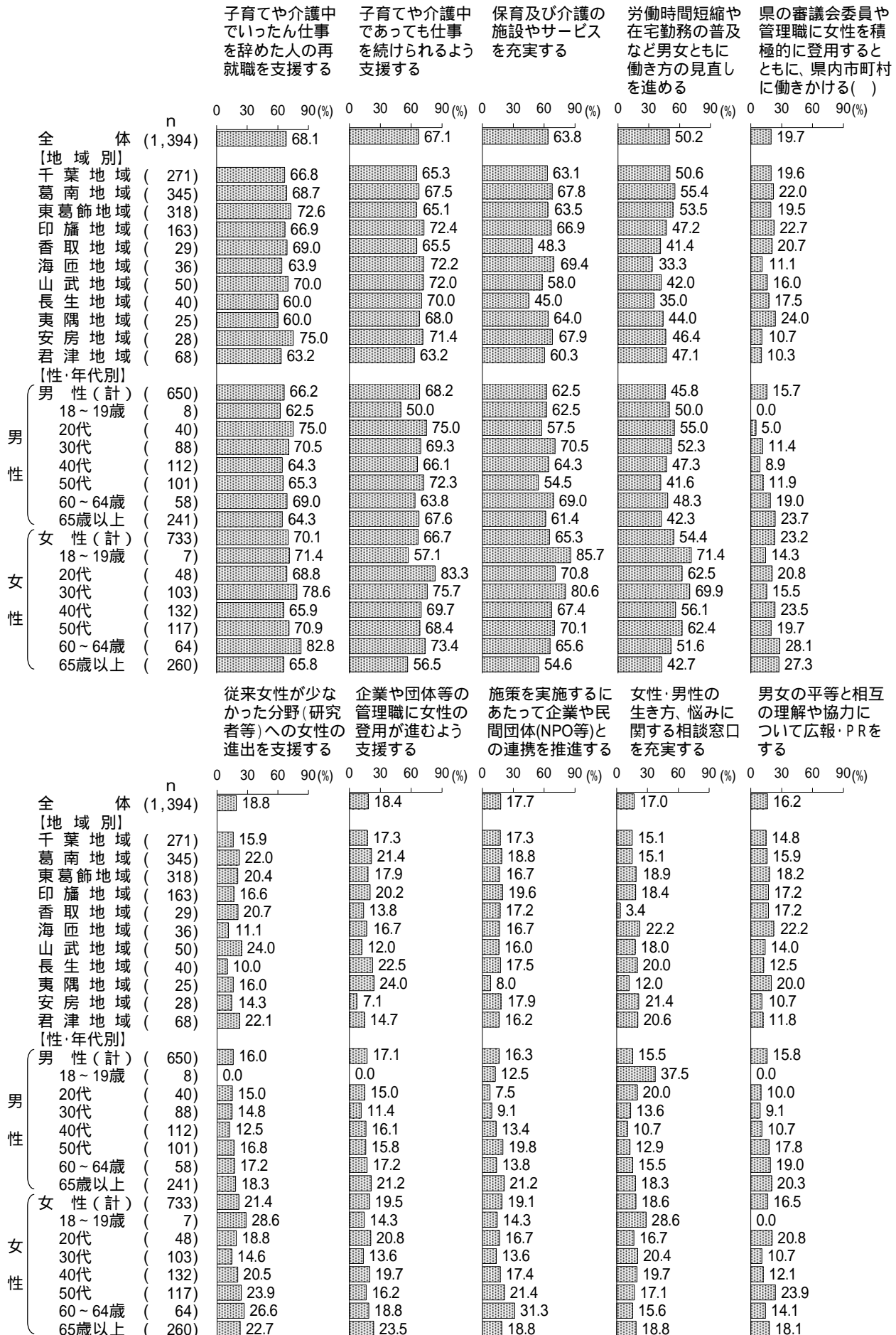
「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」は女性の20代（83.3%）が8割を超えて高くなっている。

「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は女性の30代（80.6%）が8割で高くなっている。

「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は女性の30代（69.9%）が約7割で高くなっている。（図表6-2）

<図表6 - 2> 男女共同参画社会の実現のために今後県が力を入れるべき取組（複数回答）

/ 地域別、性・年代別（上位10項目）

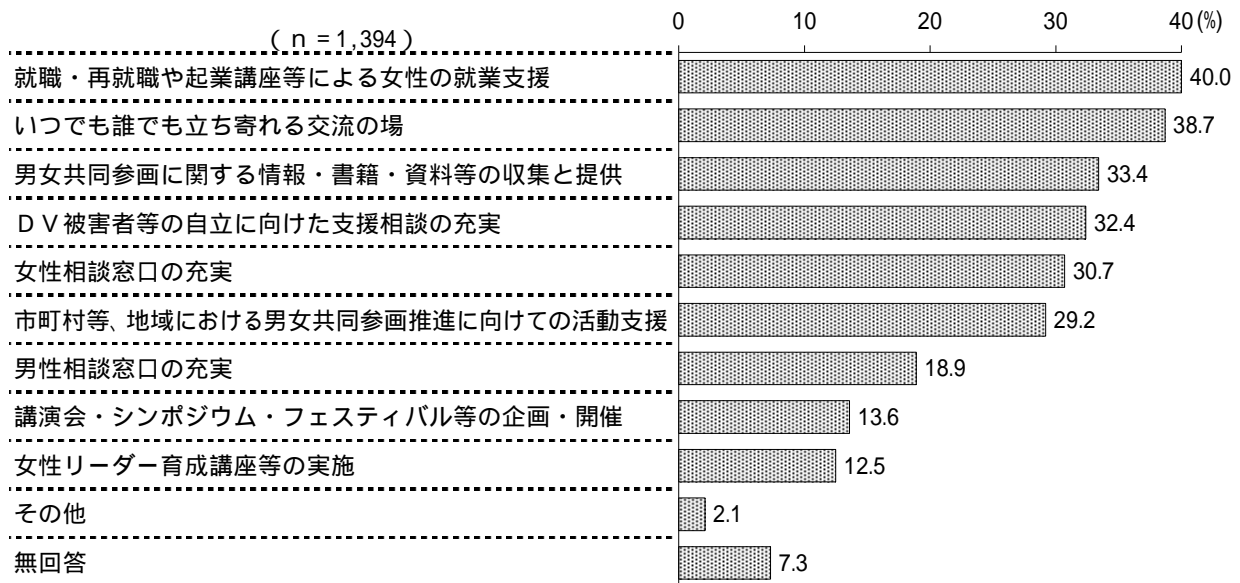


（2）男女共同参画センターで充実させるべき事業

「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」が4割

問26 県では男女共同参画推進拠点として、「男女共同参画センター」を設置しています。
あなたは、男女共同参画センターにおいてどのような事業を充実させるべきだと思いますか。
なお、このセンターは平成30年度中に、現在の千葉市稲毛区から千葉市中央区へ移転する予定です。（はいいくつでも）

<図表6-3> 男女共同参画センターで充実させるべき事業（複数回答）



男女共同参画センターにおいてどのような事業を充実させるべきだと思うか聞いたところ、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」(40.0%)が4割で最も高く、以下、「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」(38.7%)、「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」(33.4%)、「DV被害者等の自立に向けた支援相談の充実」(32.4%)が続く。(図表6-3)

【地域別】

地域別にみると、「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」は「安房地域」(60.7%)が6割で高くなっている。

「DV被害者等の自立に向けた支援相談の充実」は「葛南地域」(38.3%)が約4割で高くなっている。
(図表6-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」は女性の30代(59.2%)が約6割、女性の40代(56.8%)、60～64歳(54.7%)が5割台半ばで高くなっている。

「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」は女性の65歳以上(50.8%)が5割で高くなっている。

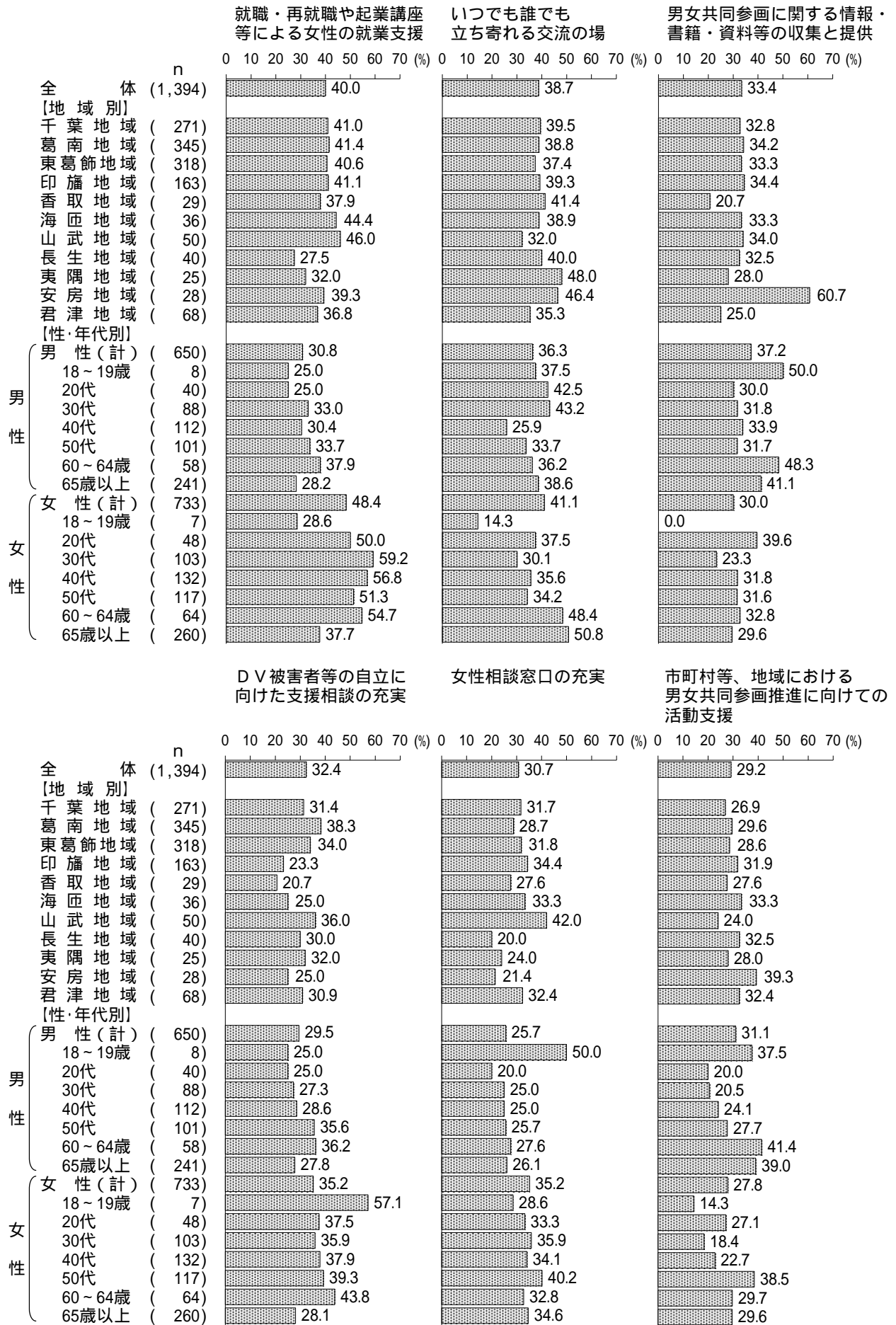
「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」は男性の60～64歳(48.3%)が約5割で高くなっている。

「女性相談窓口の充実」は女性の50代(40.2%)が4割で高くなっている。

「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」は男性の60～64歳(41.4%)が4割を超え、男性の65歳以上(39.0%)と女性の50代(38.5%)が約4割で高くなっている。

(図表6-4)

<図表6 - 4> 男女共同参画センターで充実させるべき事業（複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「男女共同参画社会の実現について」やここまでの質問（問25～問26）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、131人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「男女共同参画社会の実現」の自由回答（抜粋）

「男女共同参画社会」に関連して、「男女平等」について、何をもちて男女平等とするのか、「公」「私」双方において平等を目指すのか、「私」において、明らかに平等でない（色々な面で、優劣関係なく）今、「公」だけにおいて、平等を目指すことが出来るのか、など教育の段階で、意見を交わせるべきだと思う。（男性、18～19歳、千葉地域）

女性というより、男女ともに働きやすい労働環境の推進をして欲しい。男性も長時間労働しないですめば、女性に同じ働き方を求められなくなると思う。（女性、30代、千葉地域）

意識改革の取り組みやサービス・施設の充実などがもっともっと必要だと考える一方、専業主婦（主夫も）を望む者もありそれらの人々に対する理解が薄くなるのではと気になる面もある。個々人の多様な生き方が認められる社会が実現されるよう行政も取り組んでもらいたい。（性別・年代無回答、千葉地域）

無理に女性を登用するのではなく、必要な人財を平等に活用してもらえるとよい。子育てに関してはこれも平等に育児を行い、親となった責任を持ってもらえればと思う。（女性、40代、東葛飾地域）

未だ女性に対する偏見が残っている。この偏見をクリアーにしていくことで女性の働き方の選択肢を増やすべきである。他方、男性の社会からの影響（女性の社会進出）が多少なりともある為、男性への支援も同じように要望したいです。（男性、40代、夷隅地域）

県議会議員や県庁・市役所に女性の役職者をもっと（半数）増やして女性の声を聞き女性の考えを取り入れてほしいと思います。（女性、60～64歳、君津地域）

男女平等が叫ばれているが、しかしこれだけは忘れてならない。男女同権であっても同質ではない。その人の状況に応じた細やかな配慮が求められる。（男性、40代、葛南地域）

男女共同参画センターがどのような事業を行っているか知りません。事業の内容や講演会などのイベント情報、相談窓口の存在などをwebなどで公開して欲しいです。（女性、40代、印旛地域）

子供がいても、女性が社会復帰しやすい環境の構築が、とても大事だと思う。県政だけでは限界があると思うので、企業との協力体制が重要ではないか。（男性、30代、印旛地域）